



MSD41-58001/2 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ フロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	年式	備考
MSD41-58001-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	アルファード	'23.05~	
MSD41-58001-C0	ブラック(202)			
MSD41-58002-NP	未塗装品(プライマー未処理)			

- ・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>
- ・本製品とフロントグリルキット、シグネチャーイルミブレードを同時装着する場合は、フロントグリルキット、シグネチャーイルミブレード、本製品の順で取り付けてください。

■ 構成部品

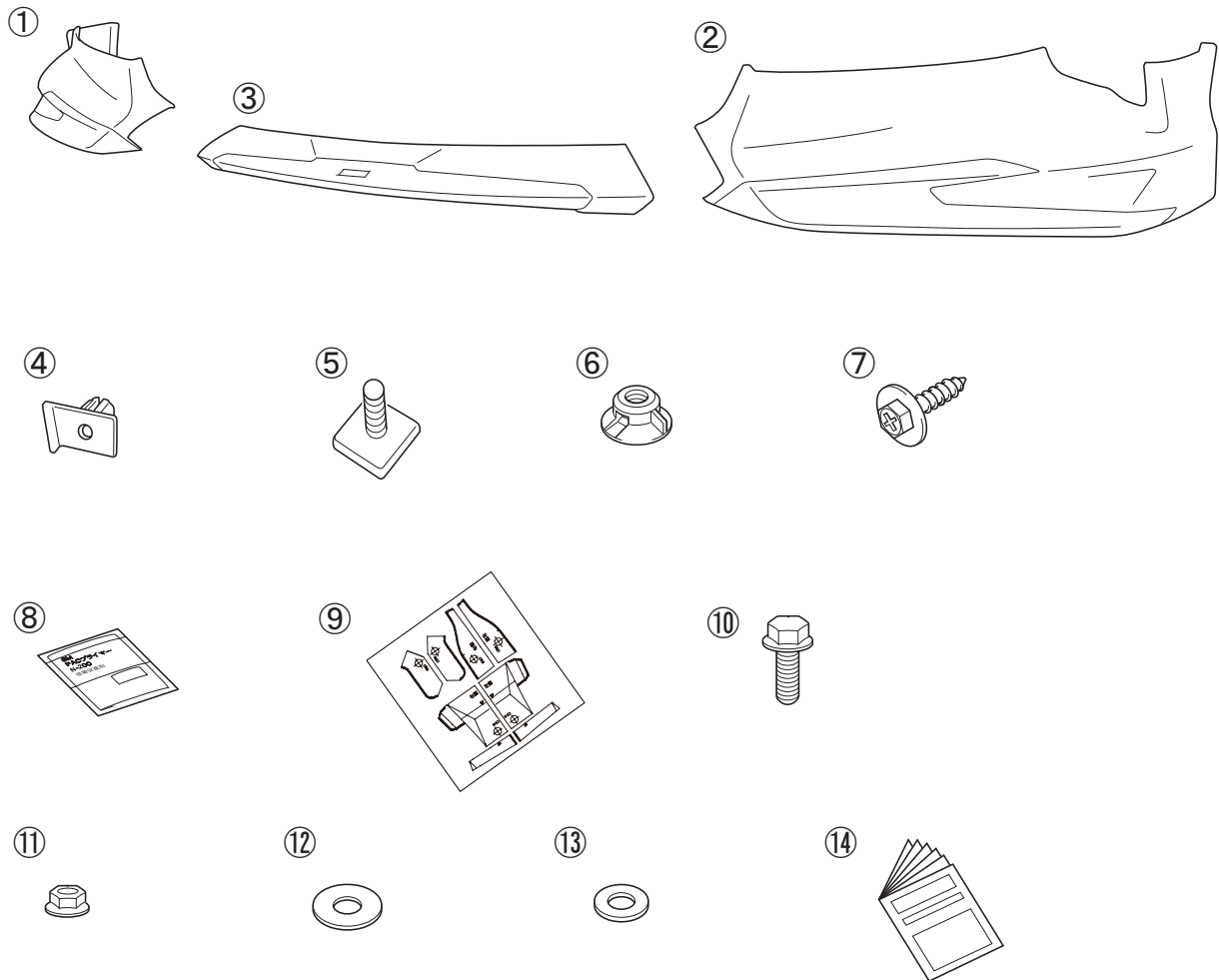
No.	部品名	品番	数量	備考
①	スポイラーRH		1	
②	スポイラーLH		1	
③	スポイラーCTR		1	
④	グロメット		4	
⑤	Tボルト		2	
⑥	クリップナット		2	
⑦	スクリュー		4	
⑧	PACプライマー N-200	08867-00220	1	
⑨	型紙シール		1	
⑩	フランジボルト		2	M8 x 23
⑪	フランジナット		2	M8
⑫	ワッシャーA		2	t=1.6 内径8.5 外径28
⑬	ワッシャーB		4	t=1.6 内径8.5 外径18
⑭	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MSD41-58002(未塗装品セット)のみに同梱。

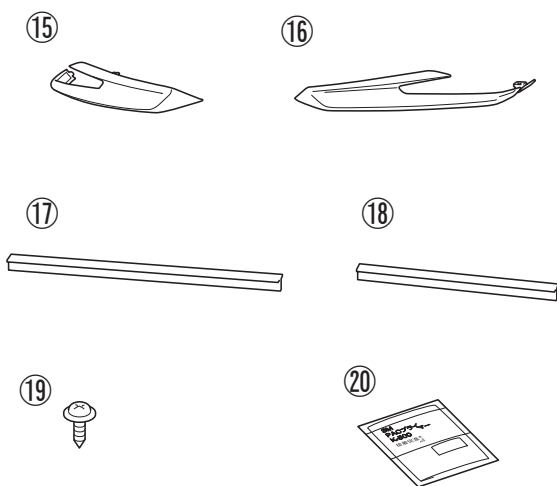
No.	部品名	品番	数量	備考
⑮	メッキRH		1	
⑯	メッキLH		1	
⑰	イ型モール(L=350)		各1	ブラック/グレー
⑱	イ型モール(L=200)		各1	ブラック/グレー
⑲	スクリュー(小)		8	
⑳	PACプライマーK500	08867-00230	1	

※ 開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD41-58002(未塗装品セット)のみに同梱



イ型モール⑰⑱推奨使用色

塗装色 (色記号)	モール色
プラチナホワイトパールマイカ (089)	ライトグレー
ブラック (202)	ブラック
プレシャスレオブロンズ (4Y7)	ブラック

■取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この警告に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

⓪ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⓪ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ⓪ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ⓪ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⓪ エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ⓪ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⓪ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ⓪ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⓪ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けは出来ません。
- ⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⓪ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが掛からないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ⓪ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ 作業にバッテリーのマイナス端子をはずした場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ⓪ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

目次

品番・適合車種	1
構成部品	2
構成部品図	3
取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	4
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、 保証について、取り付け構成図	5
取り付け要領	6 ~ 14
取り付け完了後の点検・注意事項、未塗装品の取り扱いについて フロントスポイラーの塗装	15
メッキピースの取り付け作業	16
モールの貼り付け作業	17
補修キット部品貼り付け	18

取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・電動ドリル(φ3、φ6、φ10)・ケガキ針・保護シート・養生テープ
- ・マスキングテープ・保護メガネ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス・ヤスリ
- ・スケール

保証について

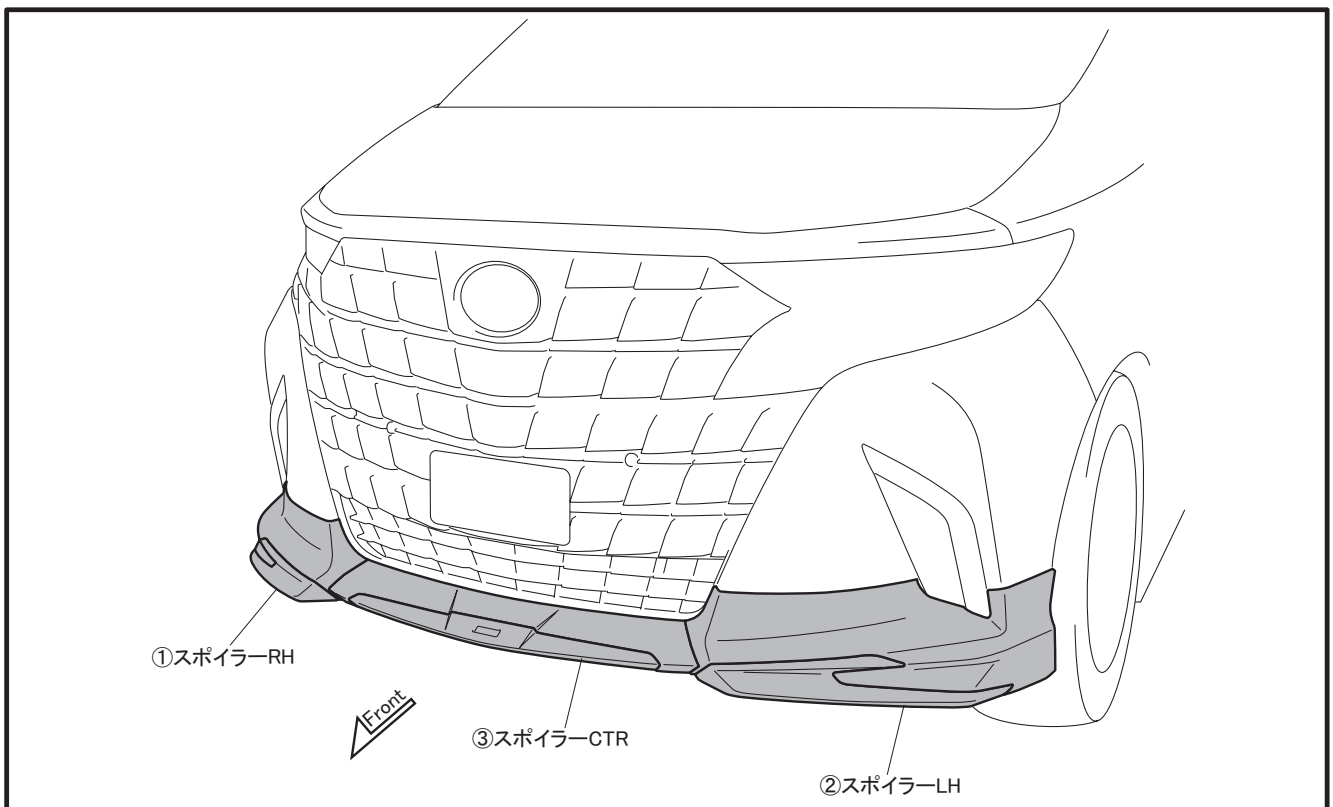
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

(1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

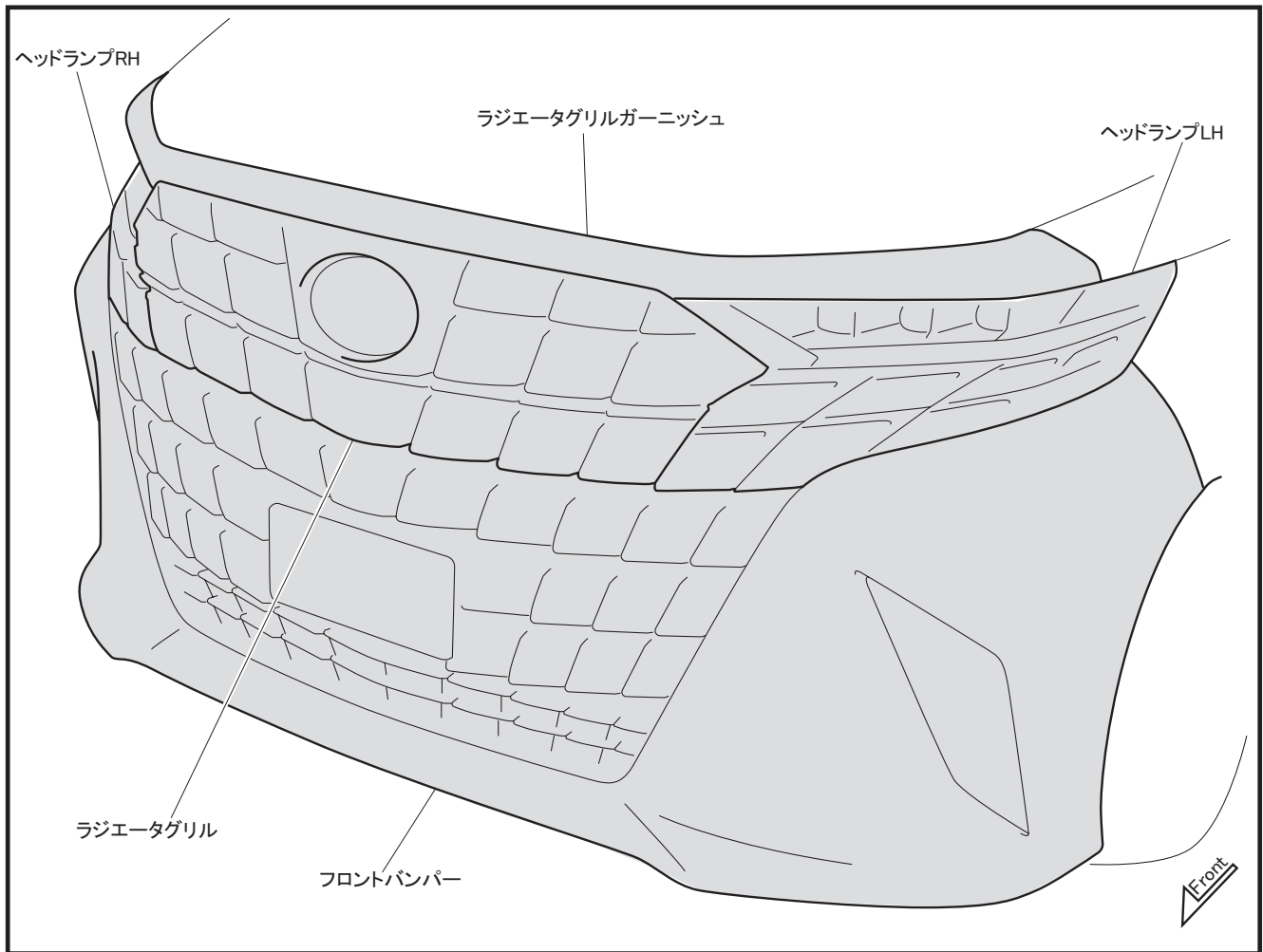
取り付け構成図



TT-FV-001

■ 取り付け要領

- ・ 部品の取り外し 【重要】ラジエーターキャップのゆるみに注意してください。



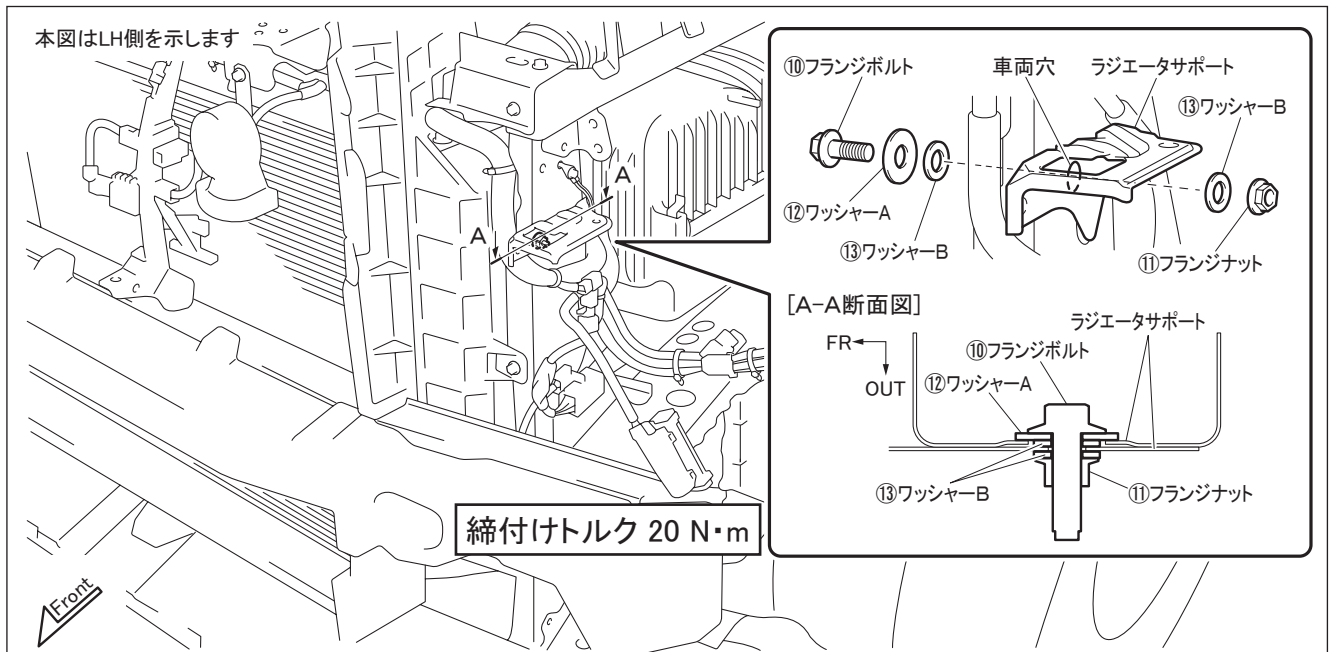
TT-FV-002

車両からフロントバンパー及びヘッドランプ LH/RH を取り外す。

👉アドバイス

- ・ 取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照してください。
- ・ 特に指示がない限り、取り外した車両クリップ、スクリュー等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。
- ・ 車両部品傷付き防止の為、以降の作業は必ず保護シートの上で行ってください。

・ 補強キット取り付け【重要】ラジエーターキャップのゆるみに注意してください。



TT-FV-003

1. 図の位置（ラジエーターサポートの車両穴）に⑩フランジボルト（1本）、⑫ワッシャー A（1個）、⑬ワッシャー B（2個）、⑪フランジナットを仮締めし、ガタつき等がないことを確認して指定トルクで本締めする。

⚠ 注意

組み付け位置、方向及びワッシャーの組間違いのないように注意してください。
本指示は LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

・ ヘッドランプ RH/LH の車両への復元

【重要】ラジエーターキャップのゆるみに注意してください。

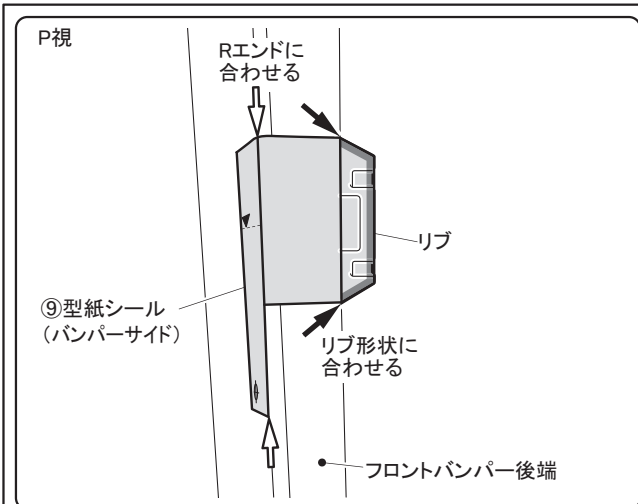
1. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、ヘッドランプ RH/LH を車両に復元する。

⚠ 注意

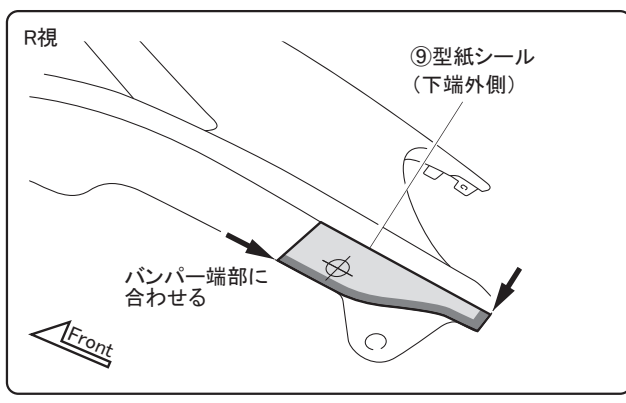
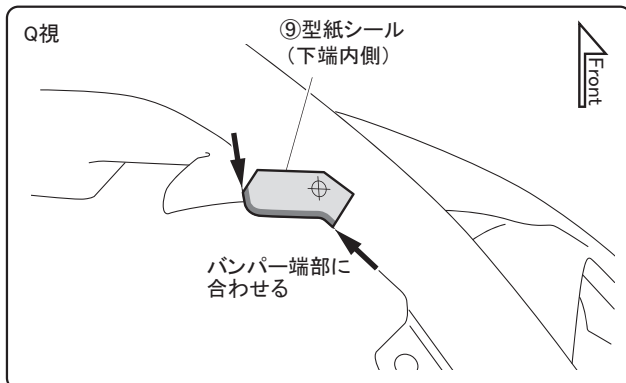
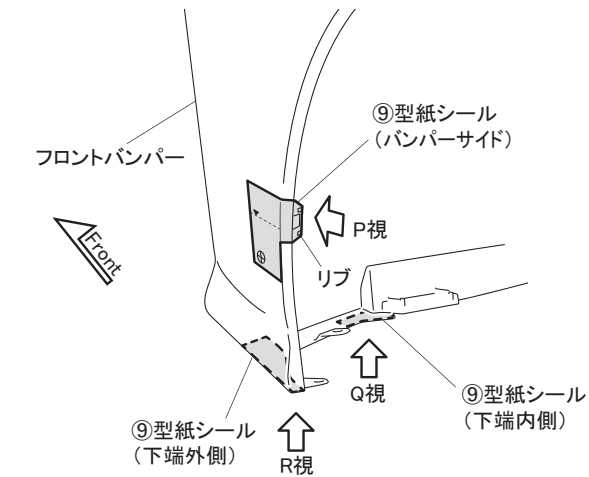
型紙貼り付け、穴開けはフロントバンパーを外した状態で実施するため復元しない。

・フロントバンパー穴開け

※以下の手順はLH側を図示しています。特記事項を除きRH側も同様に行ってください。



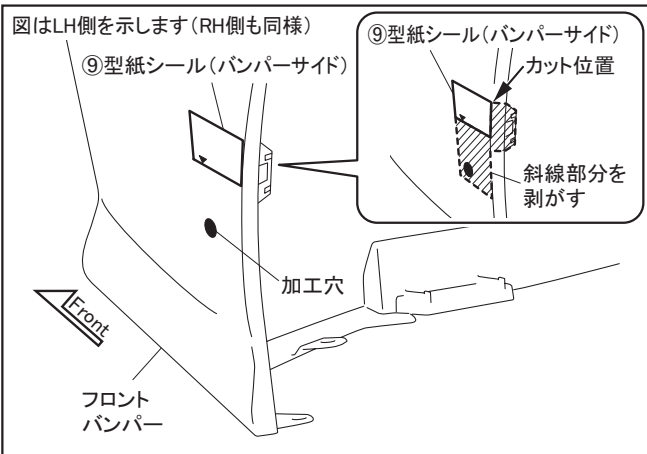
図はLH側を示します (RH側も同様)



TT-FV-A19

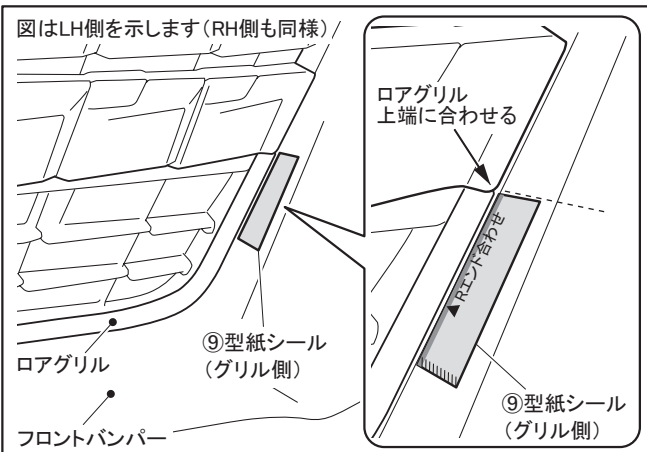
1. ⑨型紙シール (バンパーサイド) をフロントバンパーに貼り付ける。
2. ⑨型紙シール (下端内側) をフロントバンパーに貼り付ける。
3. ⑨型紙シール (下端外側) をフロントバンパーに貼り付ける。

・ スポイラー取り付け準備



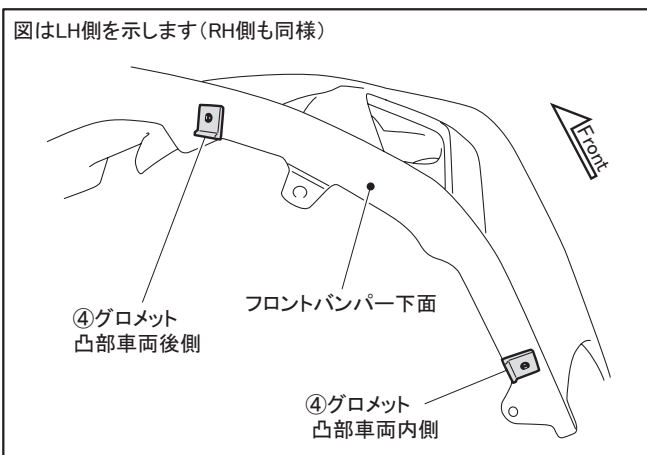
TT-FV-A07

1. 図に従い、⑨型紙シール(バンパーサイド)をカットし、斜線部分を剥がす。



TT-FV-A08

2. 図に従い、⑨型紙シール(グリル側)をフロントバンパーに貼り付ける。

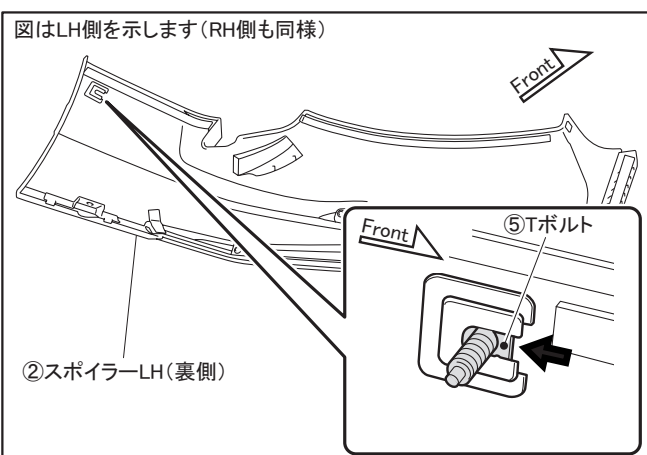


TT-FV-A09

3. フロントバンパー下面の穴開けした箇所④グロメット(2個)を取り付ける。

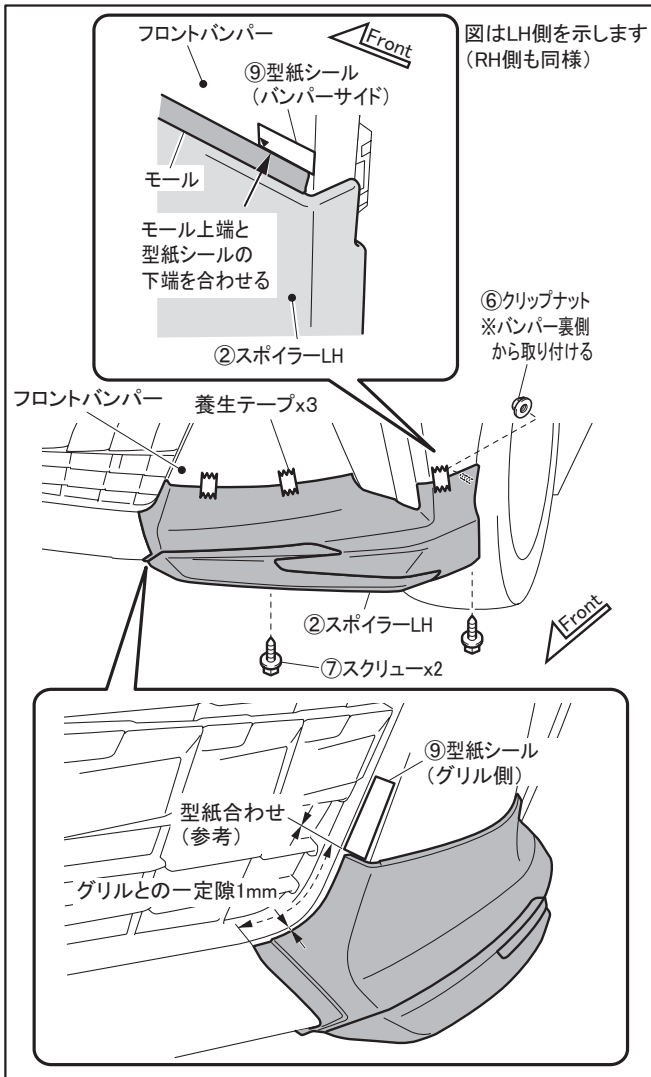
⚠ 注意

グロメットは方向性あるため、イラストのように取り付けてください。



TT-FV-A10

4. ⑤Tボルト(1個)を②スポイラーLHに取り付ける。

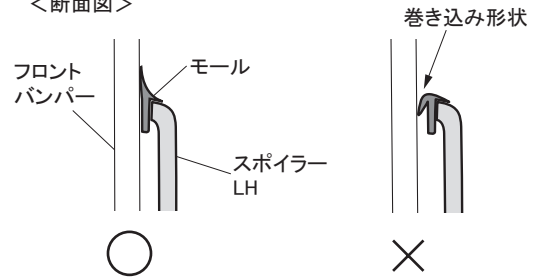


5. 図の基準に従い、②スポイラー LHをフロントバンパー及びフロントグリルに仮当てる。

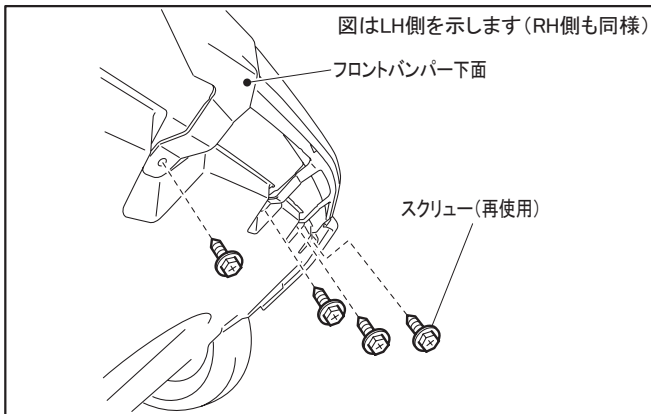
注意

1. Tボルトで車両部品に傷をつけないよう、Tボルトから先に装着してください。
2. モールのリップが巻き込んでいないことを確認してください。

<断面図>



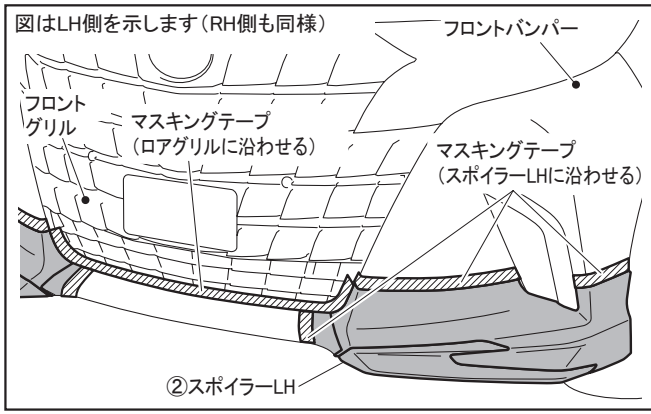
6. ⑥クリップナット (1個)、⑦スクリュー (2本) 及び養生テープ (3箇所) で②スポイラー LHを仮固定する。
7. ①スポイラー RHも同様に仮固定する。



8. フロントバンパー下面取り付けスクリュー (4本) を取りはずす。

アドバイス

スクリューは再使用するため、失くさないよう保管してください。



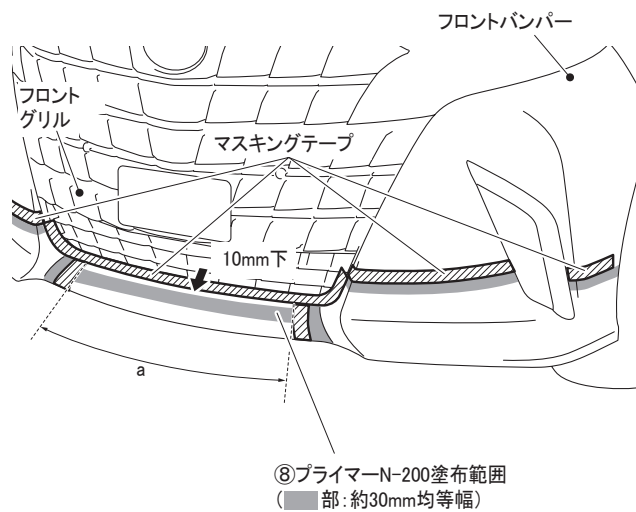
9. ②スポイラー LHに沿わせて、マス킹テープをフロントグリル及びフロントバンパーに貼り付ける。

アドバイス

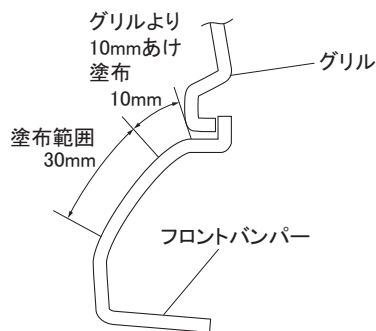
養生テープを貼り付けている箇所は、一旦養生テープを剥がしてからマス킹テープを貼り付けてください。

10. ①スポイラー RH、②スポイラー LHを一度、取りはずす。

図はLH側を示します(RH側も同様)

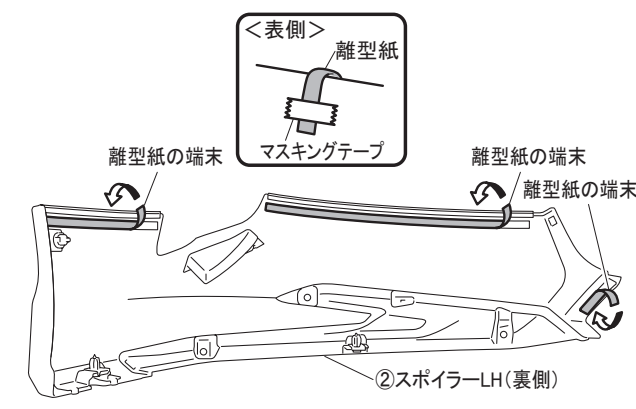


a. プライマー塗布範囲



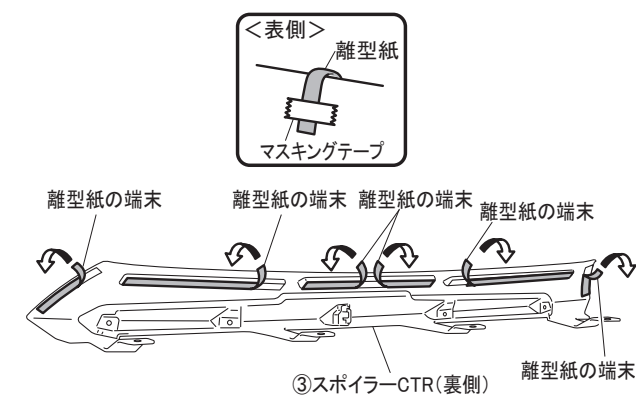
TT-FV-A15

図はLH側を示します(RH側も同様)



TT-FV-A16

図はLH側を示します(RH側も同様)



TT-FV-A17

11. イソプロピルアルコール (IPA) を使用して、⑧プライマー塗布範囲を一方向に拭いて脱脂し、⑧PAC プライマー N-200 を塗布する。

⚠ 注意

1. イソプロピルアルコール (IPA) を使用する際は、火気に充分注意してください。
2. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
3. プライマーは、マスキングテープで囲った内側からはみ出さない範囲で塗布してください。
4. プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。

以降同様

12. マスキングテープを剥がす。

⚠ 注意

マスキングテープを剥がす際、⑨型紙シール(バンパーサイド)及び⑨型紙シール(グリル側)が剥がれないように注意してください。

13. ②スポイラー LH の離型紙の端末 (3箇所) を少しめくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。(図中🔄部)

⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

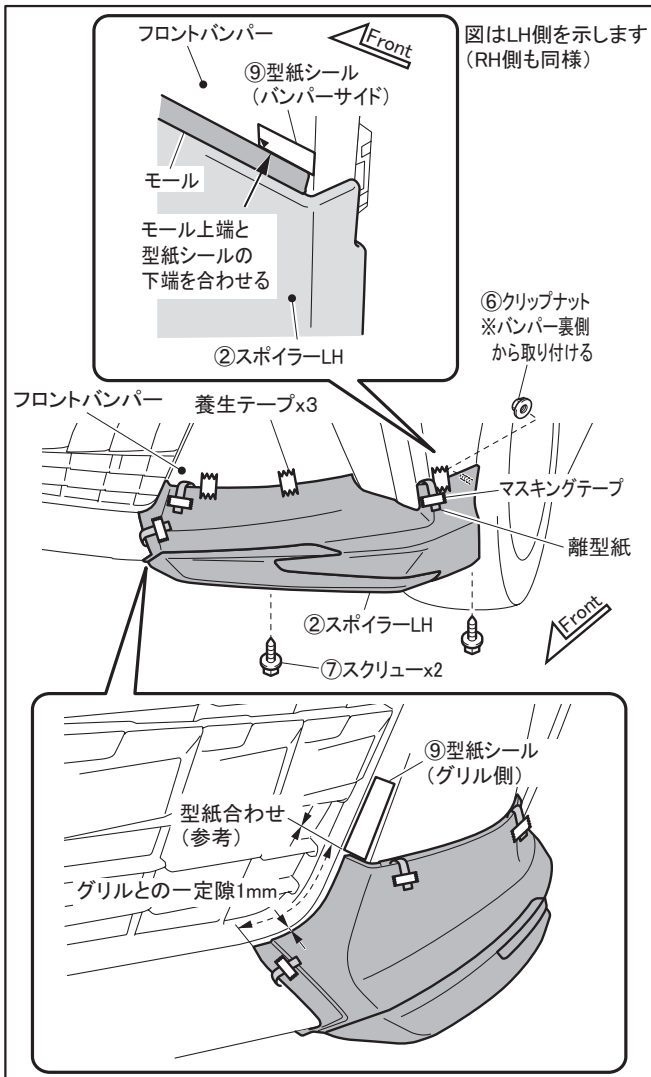
14. ①スポイラー RH も同様に作業する。

15. ③スポイラー CTR の離型紙の端末 (6箇所) を少しめくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。(図中🔄部)

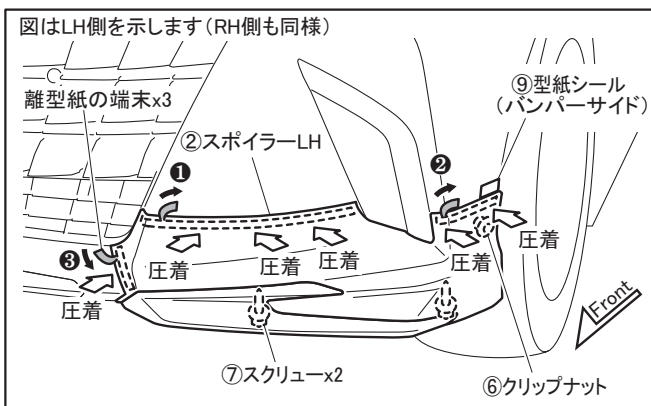
⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

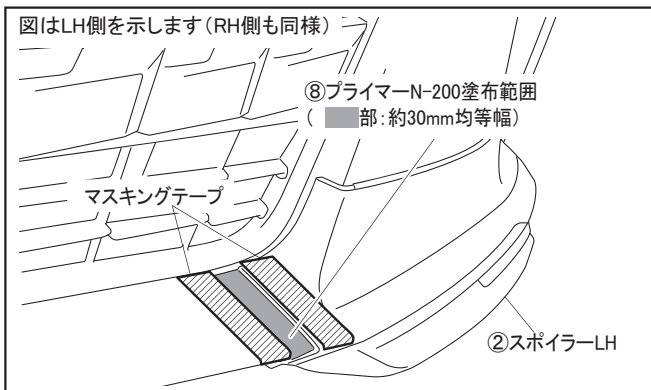
・ スポイラー取り付け



TT-FV-B06



TT-FV-B02



TT-FV-B05

1. 図の基準に従い、②スポイラー LH をフロントバンパー及びフロントグリルに仮当てする。
2. ⑥クリップナット (1 個) 及び⑦スクリュー (2 本) で②スポイラー LH を仮固定する。

👉アドバイス

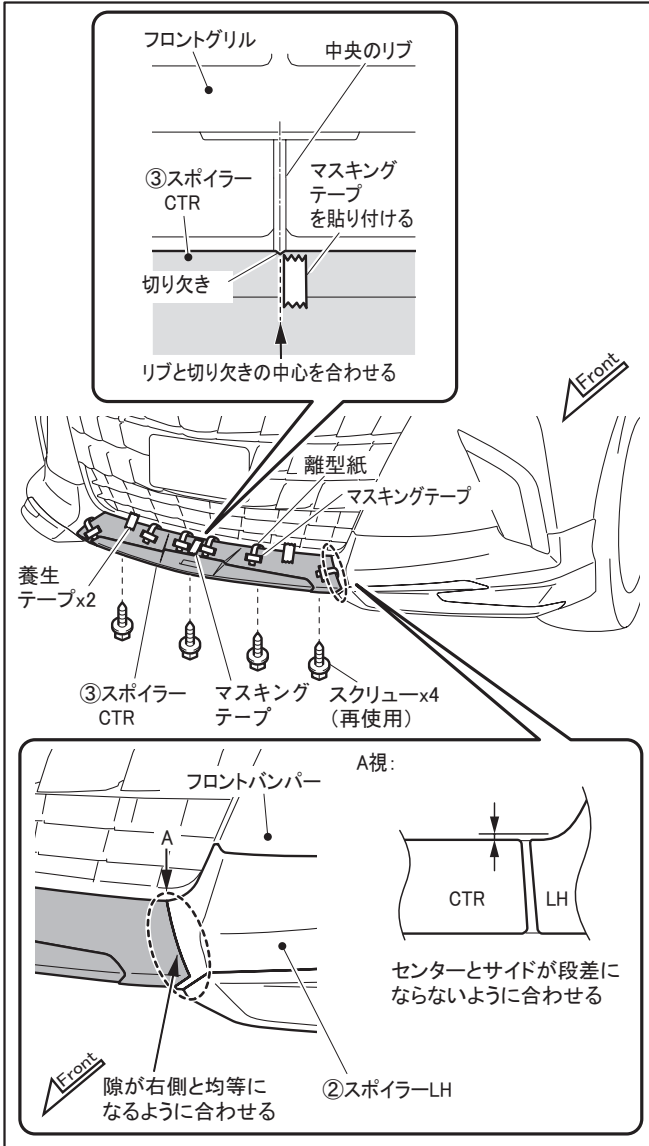
⑦スクリューは仮締めとし、両面テープ圧着後に本締めする。

3. 離型紙の端末 (3 箇所) を番号順に矢印方向へ徐々に引き抜きながら圧着する。

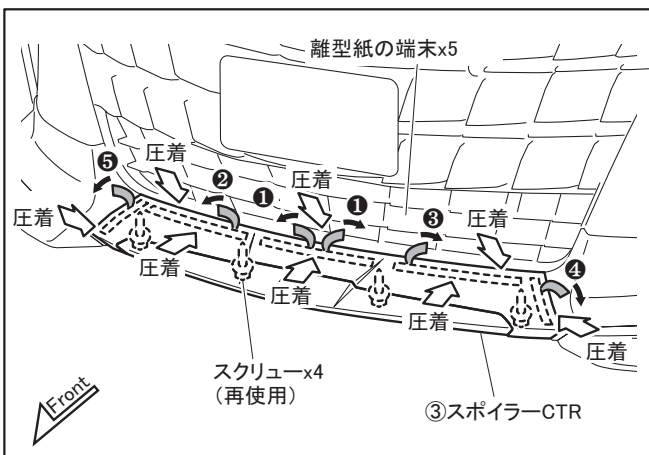
⚠️ 注意

圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。

4. ⑥クリップナット (1 個) 及び⑦スクリュー (2 本) を本締めする。
5. ⑨型紙シール (バンパーサイド) 及び②スポイラー LH に貼り付けたマスキングテープを剥がす。
6. ①スポイラー RH も同様に作業する。
7. イソプロピルアルコール (IPA) を使用して、②スポイラー LH の左図アミ掛け部を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、⑧ PAC プライマー N-200 (塗装部分) を塗布する。
8. RH 側も同様に作業する。



TT-FV-A13



TT-FV-B04

9. 図の基準に従い、③スポイラー CTRをフロントバンパー及びフロントグリルに仮当てする。
10. 車両スクリー (4本) で③スポイラー CTRを仮固定する。

アドバイス

車両スクリーは仮締めとし、両面テープ圧着後に本締めする。

11. 離型紙の端末 (6箇所) を番号順に矢印方向へ徐々に引き抜きながら圧着する。

注意

圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。

12. 車両スクリー (4本) を本締めする。
13. ③スポイラー CTRに貼り付けたマスキングテープを剥がす。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

👉 アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

⚠️ 警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落など重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

【重要】

分解・脱着した部位以外でも、周辺部品にふれて、ラジエーターキャップのゆるみや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず、確認を行ってください。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD41-58002）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

■ フロントスポイラーの塗装

スポイラー RH、スポイラー LHを車体色で塗装する。

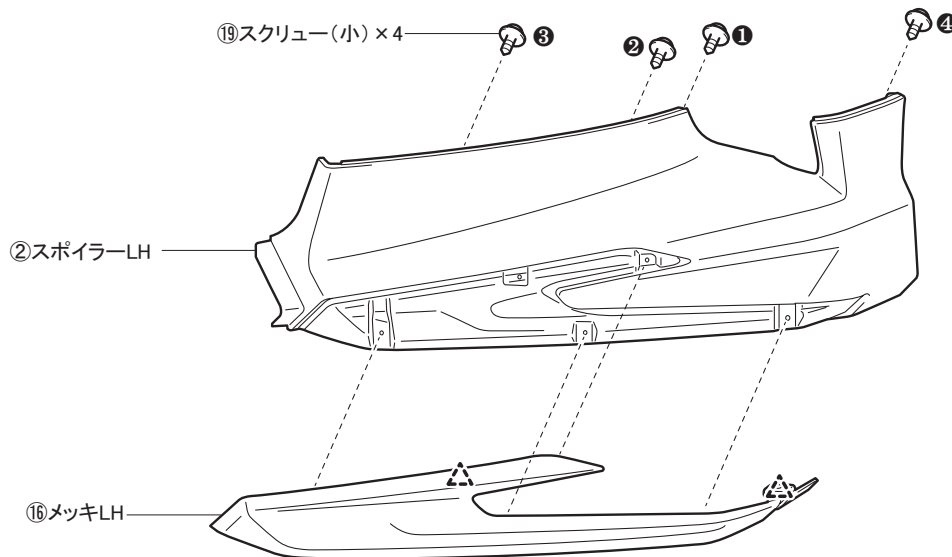
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッションをマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。（本製品の素材は＞PP<です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

⚠️ 注意

乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分に注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

■ メッキピースの取り付け作業

1. ⑬メッキLHのツメ(2箇所)を嵌合させ、②スポイラーLHに取り付ける。
2. ⑬メッキLHを⑭スクリュー(4本)で取り付ける。
図の順序でスクリューを締める。

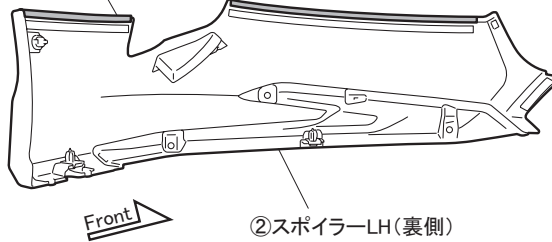


■ モールの貼り付け作業

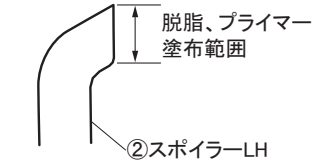
1. ②スポイラーLHの下図アミ掛け部を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、PACプライマーK-500を塗布する。

図はLH側を示します(RH側も同様)

脱脂、プライマー塗布範囲



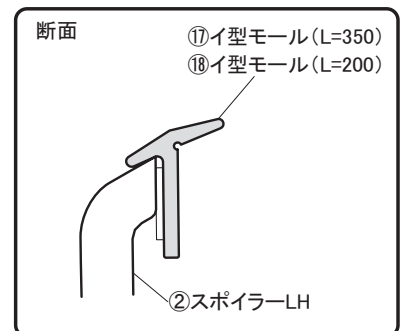
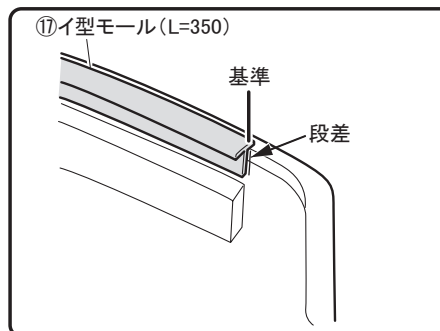
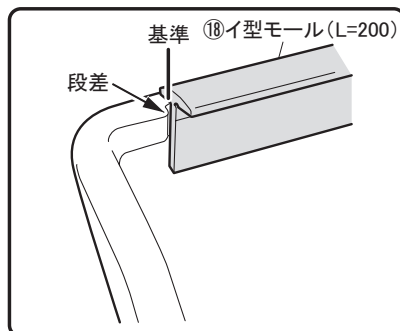
断面



👉 アドバイス

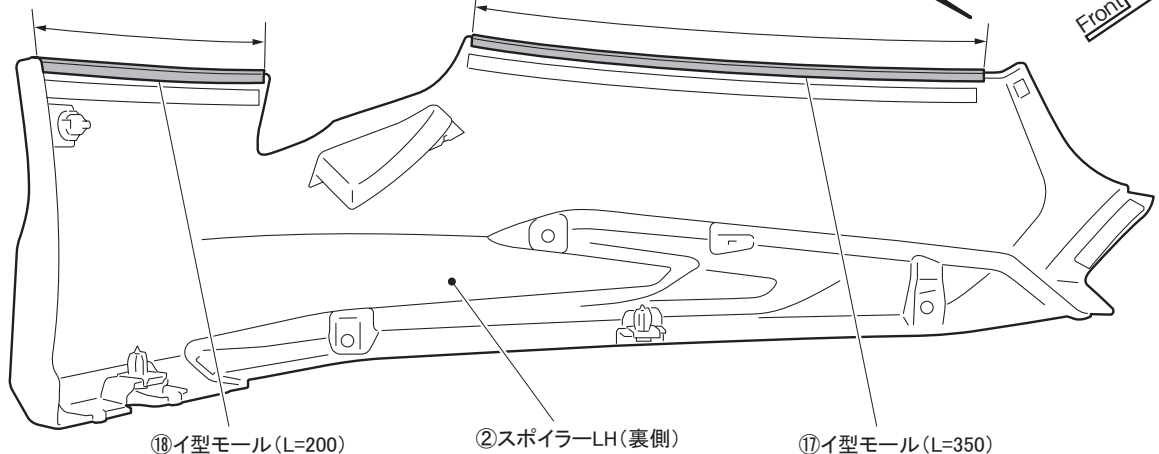
- ・ PAC プライマーK-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマーK-500塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PAC プライマーK-500はフロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. ⑰イ型モール(L=350)、⑱イ型モール(L=200)を②スポイラーLHに貼り付ける。



モール貼り付け範囲

モール貼り付け範囲

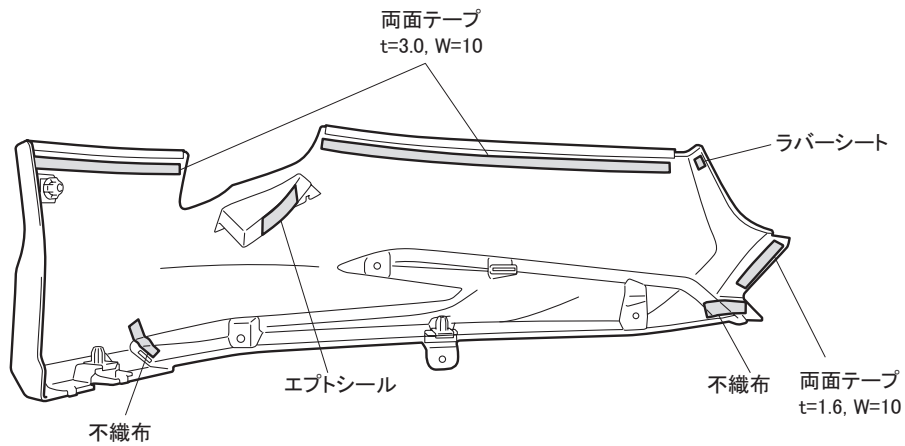


■ 補修キット部品貼り付け

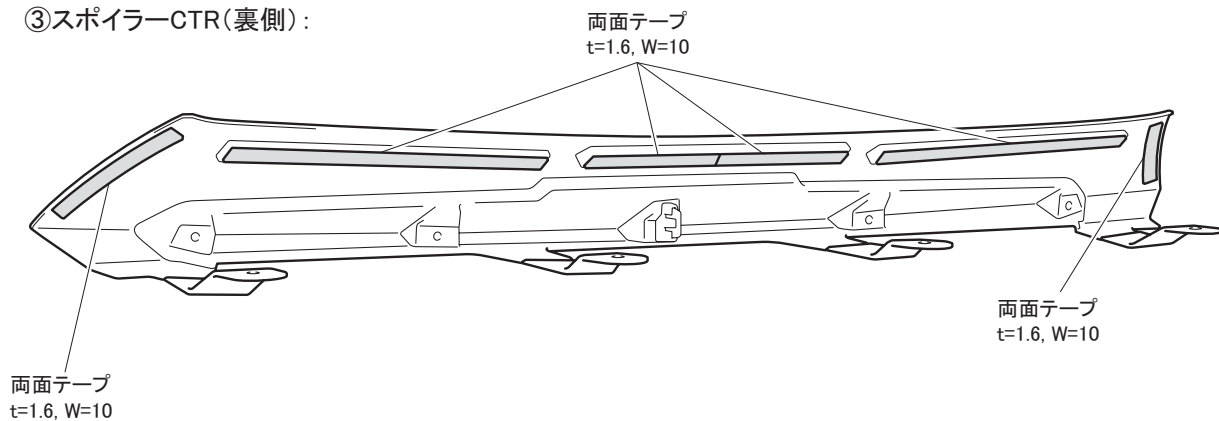
1. 補修キットを使用して①スポイラーRH、②スポイラーLH、③スポイラーCTR、の再取り付けを行う際は、下図を参考に両面テープ、不織布及びラバーシートを選択し貼り付ける。

※両面テープ、不織布及びラバーシートを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー(PACプライマーK-500相当)を塗布する。

②スポイラーLH(裏側):



③スポイラーCTR(裏側):



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

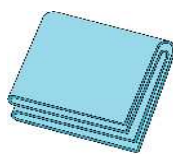


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

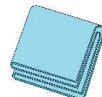
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



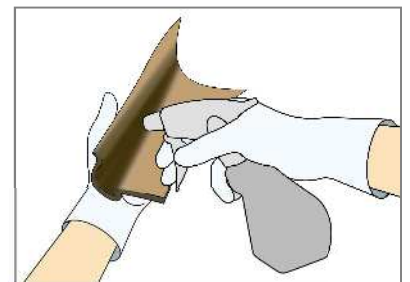
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

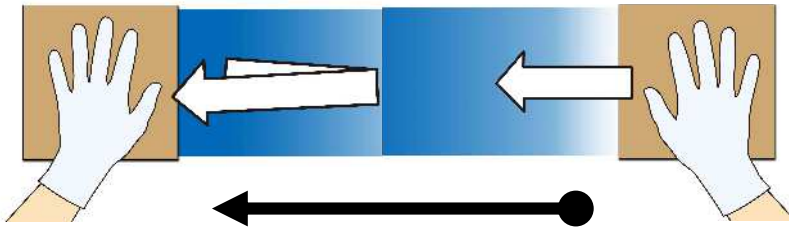
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

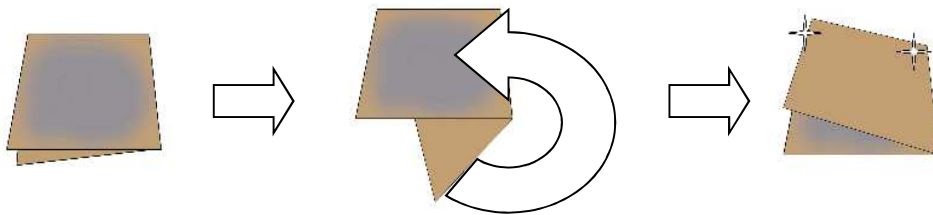
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。